

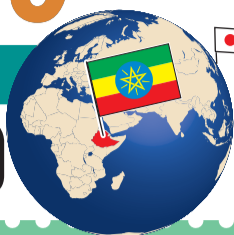
ふかめる

地球ひろば

ともに つくる ぼくらの未来

協力: JICA (ジャイカ)
https://www.jica.go.jp/hiroba/

エチオピア①



今週のリポーター

■谷内亜也子さん……北海道札幌市立新陽小学校の教員。昨年6月から青年海外協力隊の小学校教育隊員としてエチオピアに派遣中。来年3月まで首都アディスアベバにあるサネゼテン小学校で、函工、音楽、体育を中心に活動。日本文化紹介なども行っています。休み時間に先生たちとコーヒー片手に話したり、子どもと遊んだり、そういう日々の何気ない時間が大好きです。



エチオピア伝統の作法「コーヒーセレモニー」は、客をもてなすときのコーヒーのいれ方です



ナタイさん (14歳、小学8年生)

エチオピアの小学校は8年生まであります

アムハラ語 サラムノウ

平和ですか

家族

父と母、2人の兄弟と2人の姉妹、僕の7人家族です。父は建設会社を営んでいます。いつも家族のことを考え、一生懸命仕事をしてくれる父のことを、世界で一番尊敬しています。

休日

休みの日は、映画を見て過ごすことが多いです。特にわくわくするのは、アクション映画! おやつにはケーキと、砂糖をたっぷり入れた紅茶が最高です。

宝物

何よりも家族が大切です。僕を産んでくれた母と、いつもありったけの愛情をくれる父。そんな2人を、僕は心から愛しています。

エチオピア

エチオピアには約80の民族がいて、それぞれ言葉や文化が異なります。互いに文化を大切にし合い、助け合いながら生活をしています。いつも穏やかで平和なところが誇りです。

独自の文化が発達



アフリカで唯一植民地化されなかったエチオピアには、これまで多種多様な独自の文化が発達してきました。みなさんのお気に入りの地域や民族を、ぜひ探してみてくださいね!

夢

将来は科学者になって、薬の開発をしたり動植物の研究をしたりしたいです。そのために、学校では理科の授業を頑張っています。



現地のスパイスを絵の具に函工の授業

学校

生き物の体の仕組みに興味があり、今は理科の生物の授業に夢中です。休み時間には、友達とバスケットボールをして遊びます。

食べ物

主食のインジェラ(テフという穀物から作ったクレープのような薄いパン)と、付け合わせのドロワット(鳥肉をスパイスで煮込んだもの)が大好きです。ドロワットは特別な料理で、月に2回ほど、お祝い事のある日に食べます。



お盆いっぱい広がるクレープのようなものがインジェラ。白い器の煮込みがドロワット

「サラムノウ」習慣、始めませんか?



小学校の子どもたちと紙飛行機を飛ばしました

エチオピアの一日は「サラムノウ」から始まります。町では、すれ違えば元気よく「サラムノウ」と言葉を交わし、握手をして肩をぶつけ合ったり頬をくっつけたりするのがお決まりです。これは、日本語で「平和ですか?」という意味の言葉。日本では「平和ですか?」などと声を掛け合う習慣はないため、エチオピアに来たばかりの頃は「おもしろいから、使った方がいい」と、改めて人とのつながりの大切さを実感し、その日から本にいる家族や友人と定期的な連絡を取るようになっていきました。

エチオピアの人々にとって「サラムノウ」という言葉を交わすこと、それ自体が平和の象徴なのだそう。この言葉や会話を通し、相手のことやその場にはない家族や友人たちとのことなどについて思いをはせる。そして、その無事や物事の順調さを幸せに思い、笑顔になる。平和ってなんだろう、幸せってなんだろうとぼんやりと考えがちな私たちが、答えはきつと身近に、そばにあるはず。当たり前が当たり前である奇跡に感謝し、小さな幸せをかみしめながら、生活を送りたいと思います。